



東京オリンピックのサーフィンのチケットは当たりませんでした。

会員 渡邊 孝太 (70期)

突然ですが、私は無趣味です。かと言って仕事が好きというわけではありませんが、いろいろと日々悩みながらそれなりに楽しく仕事させていただいています。

そんな無趣味な私ですが、夏になると海に出掛けてサーフィンをすることがあります。家にいても妻にエアコンの温度を下げさせてもらえず、海に入って涼むのが一番快適だからです。ですので、寒い冬にはもちろんサーフィンなんてしません。若い頃、1月か2月頃に九十九里の海でサーフィンをしました。あまりの水の冷たさに（かき氷を食べたときのような）頭痛を感じて懲りました。このような私ですので、サーフィンの腕前は「永遠のビギナー」と呼ばれるほどです。

若い頃と言えば、私がサーフィンを始めたのは20年以上前です。もちろんモテるために始めたのですが、たいしてモテませんでした。その頃は、海に入るとコワイサーファーのお兄さん達が多く、ぱっと見た限り、マジメそうなサーファーは私を除くと2、3名程度でした。ところが今や、爽やかなお兄さん達が逆に多くなり、コワなお兄さん達は少なくなったように感じます。やはり今年のオリンピックの競技種目に選ばれるほどなので、この調子でどんどん爽やかなスポーツになっていって欲しいものです。

ところで、サーフィンはとても危険なスポーツでもあります。そもそも遊泳禁止の区域で行うものなので当然と言えば当然ですが、私自身も一度や二度は死にそうな目に遭いました。例えば、荒れ気味の海に一人で入っていたところ、いつの間にか沖に流されてしまいました。そのときは、後ろにはテトラポットが積まれ、前からは大波が次々と押し寄せてきて、テトラポットに打ちつけられるか吸い込まれるかして死ぬのではないかと思っていました。ほかにも、もっと恐ろしいことがありました。

夏休みの終わりに高知の海に入っていたところ、私の海パンの右脚部分からクラゲが入り、左脚部分からクラゲが出ていきました。そのとき私は、右モモ内側と左右のモモの中間と左モモ内側をクラゲに刺しまくられたので、海上でひとり絶叫してしまいました。

そんなこんなで、私はかれこれ20年以上、細々とサーフィンを続けています。いままで色々な友人をサーフィンに連れていきましたが、皆さん長続きしないところを見てますと、途中で司法試験の勉強等のため一時中断していたことはありますが、私は比較的楽しくサーフィンさせていた

だしている気がします。そして、最近ではもっぱら家族と一緒に海に出掛けるため、妻にもボディボードをやらせるようになりました。妻はもともと体育嫌いの文系女子で運動神経



ゼロなのですが、なぜかボディボードはそれなりに楽しらしく、40代で始めたにもかかわらず、妻なりに大満足でボディボードをやっているようです。

そういえば、先ほど少しお話をしましたが、皆さんは今年のオリンピックのチケットは手に入れられましたか？ 私は、サーフィンなんてマイナーだから絶対当たると思ってチケットを申し込みましたが、全く当たりませんでした。とても寂しい気持ちになりましたが、これからも「永遠のビギナー」として楽しくサーフィンを続けていきたいです。